

市民の暮らし最優先の つくばみらい市をめざして 古川よし枝は

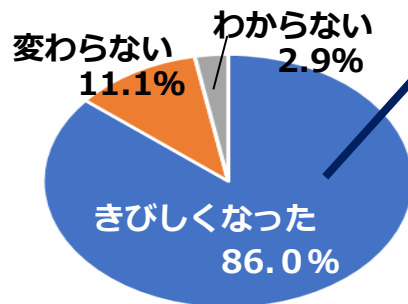
がんばります 日本共産党

プロフィール 1951年茨城県高萩市生まれ/茨城キリスト教短期大学卒/つくばみらい市議7期(含伊奈町議3期)/趣味:編み物 家庭菜園 自然観察/小島新田在住/家族 夫

2023年7~8月にかけて日本共産党つくばみらい市委員会が実施した市民アンケートでは、無責任な国の悪政のもと、市民のくらしがその影響をもろに受けており(下表アンケート結果参照)、要求も切実です。

日本共産党の古川よし枝は、市民の切実な願いをしっかりと受け止め“**明るいまちづくり**”をめざします。

問1) 最近の物価高騰で暮らし向きはいかがですか?



問2) 「きびしくなった」ことに対しての生活維持の工夫をどうしていますか? (複数回答)

- 旅行や娯楽費の節約 56.8%
- 貯蓄の切り崩し 45.7%
- 食費・光熱費の節約 37.0%
- 医療受診を控えている 13.6%

高いものは買わずに安いモヤシを買います。年寄りには「早く死ぬ」と感じています。



今の子どもたちが大人になった時のための施策をお願いします。



今年の夏は猛暑だったが、電気代が大変なので、近くのコンビニで涼んだよ。



すぐにできる3つの市民の願い

財源はあります 実現をめざします

1. 学校給食費無料化

必要予算額…2億4000万円

2. 子どもの医療費窓口負担ゼロ

必要予算額………4700万円

3. 補聴器購入費補助・1人3万円×200人分

必要予算額………600万円

3つの総額………2億9300万円

- ①市の財政調整基金(自由に使えるお金)は現在35億円あります。
 - ②毎年5億円の繰越金があります。
 - ③人口増で市税が4年間で9億円増
- ※何より市の財政規模は270億円で、その1%強を使えば実現できます。

古川よし枝 は各分野の要求にも取り組みます

○子育て支援

・高校生、大学生などへの給付型奨学金制度創設

○くらし応援

・上下水道料金の値上げは許しません
・TX 運賃・学生の定期割引を JR 並みに



○明るいまちづくり

・デマンドタクシー増便で外出支援の充実を
・地域住民意向無視の小中学校統廃合には反対
・市民温水プールの建設を

○農業を守ろう

・農産物の地産地消、後継者の育成取り組み



古川よし枝は 市民の願いをしっかりと受け止め、議会にまっすぐに届けます

日本共産党

古い政治体質から

政治資金パーティで裏金疑惑

しんぶん「赤旗」に利用版スクープがきっかけ
自民最大派閥阿部派が数億円単位での裏金づくり疑惑。政権中枢関与が問われる深刻な問題に！

軍事費上位10カ国(2021年)

順位	国名	金額(億ドル)
1	アメリカ	8007
2	中国	2934
3	日本	10??
4	インド	766
5	イギリス	684
6	ロシア	659
7	フランス	566
8	ドイツ	560
9	サウジアラビア	556
10	韓国	502

軍事費が倍増すると

ストックホルム国際平和研究所資料から作成。

「大軍拡&大増税計画」
大軍拡のために

岸田政権は軍事費を一気に今年度の倍に、5年間で43兆円にも。増税ばかりか年金や医療のための積立金まで流用するなど、国民生活と国家財政の全面的破壊をもたらします。

ジェンダー平等の著しい遅れ

2つの問題

賃金格差など財界・大企業の責任と戦前の男尊女卑を当然視する勢力の存在がゆがみになっています。

ジェンダー・ギャップ指数
2023年。日本は146カ国中125位

順位	国名	値
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
40	フランス	0.756
43	アメリカ	0.748
79	イタリア	0.705
102	マレーシア	0.682
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
124	モルディブ	0.649
125	日本	0.647
126	ヨルダン	0.646
127	インド	0.643

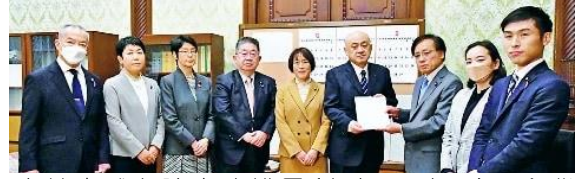
0が完全不平等、1が完全平等
世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2023)」から作成

「新しい政治の流れ」を市民と力をあわせて

パーティ券も規制する

企業・団体献金全面禁止法案を提出

企業団体献金も政党助成金も受け取らない共産党を伸ばしてクリーンな政治を実現しましょう。



小林史武参院事務総長(右から4人目)に企業・団体献金全面禁止法案を手渡す井上哲士参院幹事長(その右)ら党議員団=12/5日、国会内

戦争の準備より平和外交の発展を

日本がやるべき事は、憲法九条をいかした外交努力で平和的な環境を作ること。共産党は結党以来101年、「反戦平和」を命がけで貫いてきました。平和を願う市民の声を発信しようではありませんか。

ジェンダー平等・多様性を尊重する社会へ

一人ひとりが自分らしく生きることができる社会でこそ、それぞれの力が豊かに発揮され、経済社会の発展が可能になります。ジェンダー平等の心が生きるつくばみらい市をめざしましょう

この4年間、日本共産党市議団・2議席は「住民が主人公」の立場で奮闘してきました。

市民のみなさんと力を合わせ実現

○国保税が引き下げに。子どもの保険料が半額に。

○子どもの医療費負担軽減。

○みらい平に中学校建設。

○デマンドタクシーの障がい者の利用料半額に。



障がい者の貴重な交通手段。より

活用しやすさを求めています。

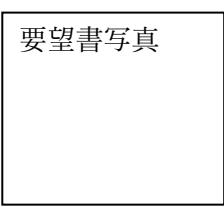
○民間賃貸住宅の家賃補助制度の拡充

少なくなっていく市営住宅に代わって民間賃貸住宅の活用、現在は30軒に増。家賃の半額を補助し、家賃限度額5万円までが6万円に拡大。

引き続き、あなたの願いを古川よし枝に託してください

くらしの声を直接届けてきました

○毎年、市民予算要望書を提出



共産党が実施する市民アンケートをもとに、○項目にも及ぶ予算要望を市に提出。

○関鉄バス減便に、県バス協会への申し入れ

市民の大切な足である関鉄バスが12/20以降減便となる状況を踏まえ、県バス協会に申し入れ。

○水道事業・県一本化計画ストップの要請

○OTX 運賃・学生定期券割引を「JR 並み」にと TX 本社申し入れ。

2 新しい議会でも議席でがんばります
憲法とくらしを守ろう



おおかねまさ友介氏と2議席を必ず

国にも県にも、ハッキリとものをいう議員として頑張ります

つくばみらい市(地方自治体)の目的は、「市民の幸せをはかること」。国や県の悪政の「防波堤」となる議員として、2議席の力(議案提案権)も生かし、全力で頑張ります。

東海第2原発再稼働反対

岸田首相は、原発の再稼働と新設を明言。東海第2原発再稼働ストップのため全力をつくします。



※東海第二原発の半径30キロ内に94万人が生活